**第６回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２８年９月２３日（金）　１７：３０～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆ 出席部会員：部会長　　安宅　錦也

　　　　　　　 部会員　　仲川　弘誓

　　　　　　　　　　　　 合田　美津子

　　　　　　　　　　　　 磯田　大治

　　　　　　　　　　　　 佐藤　文子

　安部　直也（協働推進庁内委員会副部会長）

【教育部社会教育Ｇ総括主幹】

◆ 欠席部会員：副部会長　川村　正勝

　　　　　　　　　　　 　橋場　太 （協働推進庁内委員会部会長）【教育部次長】

◆ 事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　　 野畑　衣里子【市民生活部市民協働グループ主任】

* その他：　　　　　鳴海　文昭【登別市連合町内会事務局長】

　　　　　　　　　　　　 及川　富夫【中央町三丁目町内会長】

　　　　　　　　　　　　　今　 平人【中央新生町内会長】

　　　　　　　　　　　　 草野　義彦【都市整備部次長】

　　　　　　　　　　　　 齊藤　玲二

【都市整備部　土木公園グループ施設維持主幹】

　　　　　　　　　　　　 山﨑　俊典

【都市整備部土木・公園グループ公園担当主査】

◆ 議題：「健康」に関する取り組みについて

**≪事務局≫**

　まず事務局から説明いたします。前回の部会のときに公園の有効利用に関する話から都市整備部職員と連合町内会の方に話を聞きたいというお話がありまして、本日育み部会にご参加いただいております。

　まず、連合町内会関係の方々のご紹介をします。公園の街区公園等の清掃交付金を受けて西公園の管理をしています中央町３丁目町内会の及川会長です。同じく北公園の整備を担当しています中央新生町内会の今会長です。そして連合町内会事務局の鳴海事務局長です。

　次に都市整備部職員をご紹介します。草野都市整備部次長です。

土木・公園グループ齊藤主幹です。公園担当の山崎主査です。

本日は、町内会から及川会長と今会長にお越しいただいておりますので、街区公園の整備等について活動内容をお伺いしたいと思います。

　その後、都市整備部からは公園の関係等含めまして、部会の中で話をしていければなと思っています。

　それでは、部会長お願いします。

**≪部会長≫**

　今日は本当にお忙しい中来ていただきまして、ありがとうございます。

　事務局からお話があったように、育み部会は健康づくりの取り組みということで、公園を利用して何か取り組みができないかということについて進めております。その中で公園の利用状況を把握しながら、ぜひ健康に生かせるようなそういう公園の整備も進めていったらどうかということで今日は、皆さんに来ていただいて現状についてお話を聞かせていただきながら、我々の今後の話し合いの方向性について、参考にさせていただければと思います。

　限られた時間ですので、町会の皆さんから現状等を聞かせていただき、都市整備部からは現状等について話を聞かせていただいた後、後半については部会だけでまた進めていければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

　早速ですが、今お話があったように、交付金の中でどのような仕事をされているのかという部分情報をお聞かせいただけますか。

**≪及川会長≫**

　皆さんおばんでございます。私、中央町３丁目町内会の会長をしています及川と申します。

中央町３丁目町内会が管理しているのは、西公園とパークゴルフ場、それから砂場も完成したものですから、その３つの管理についてご説明いたします。

１つ目は花壇の整備をしており、約1,800株を移植し管理しております。

２つ目は草刈りです。１シーズン８～９回ほど行い、刈った草については堆肥化し、地域の方の自家菜園に有効利用させていただいております。

３つ目は砂場の管理で、昨年砂を４ｔ現物支給していただき、砂場自体は自分達で穴を掘り作りました。砂場の衛生管理については、常にネットを張っており、使用する時のみネットを剥がすという対応にしており、地域の子ども達も約束を守って使用しています。

**≪今会長≫**

中央新生町内会の今です。中央新生町内会では北公園の管理をしており、年に４～６回草刈りを行っています。作業時間は３、４時間かかります。そのあと、空き地を借りてそこに積み上げて堆肥を作っています。北公園から空き地まで草を運ぶのも約２時間かかり、リアカー２０台分くらいの草が出ます。

　花壇については公園内には作っていません。

砂場はありますが、砂の管理はみんな市でやっていただいているので、私たちが行うのはゴミとか猫の糞などの清掃です。

公園の遊具については３年ほど前全部リフレッシュしていただきました。私たちがやらなければならないのは草刈りと砂の管理です。砂の管理はたいしたことはないのですけれども、やはり草刈りというのは大変な仕事です。以上です。

**≪鳴海事務局長≫**

私からまとめて話したいと思います。

登別市内には95の町内会がありますが、公園のある町内会においてはきれいな公園にしようと管理していますが、草がたくさん生えている公園は利用も少ない。若いお母さん達も、そこで子どもを遊ばせようとは思わない。虫も発生しますので、行政の行き届かない部分については草刈りなど率先してやっています。きれいにするには、数回の草刈りをしなければならない。今の清掃交付金では油代がまかなえないので、もう少し考えていただきたいという思いは事務局に寄せられています。

この市内にある公園は地域の憩いの場になっていると思います。また、町内会行事の活性の場のための施設でもあり、例えばラジオ体操会や七夕集会、ミニ運動会、あるいは一時避難場所等、様々に利用されております。

登別市では協働のまちづくり、協力の協に働く。私、連町としては行政と地域と町内会とお互いに行政ができる部分とあるいは地域でやってもらいたいという部分の役割分担で、これは今草刈りもそうだと思います。行政がこの95ある中の公園を全部草刈りをしてくれというのは大変経費もかかると思いますが、協働の街づくりという考え方でやるのであれば、この経費も考えていただければと思っております。以上です。

**≪事務局≫**

公園の草刈りの関係についてはこの部会とは別の話になりますので、市民協働グループが町内会の窓口になり、鳴海さんと調整したうえで、進めさせていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

前回の部会の中で、公園の利用率調査の話がありましたが、その関係で都市整備部の方から、公園の利用実態等について、実際どういうものなのかとかというお話はありますか。

**≪草野次長≫**

まず公園の利用実態なのですけれども、市内に135カ所公園、広場というものがあります。実際のところ、何人の方が利用しているというような実態調査はしておりません。ただ、亀田公園ですとか、川上公園、富岸公園等々につきましては、それなりの使われ方をしているのかなと思っております。

あと、公園によっては老朽化で壊れていく遊具とか使用頻度が高くてすり減り等で、修繕しなければならないような遊具いくつかあるという状況です。

**≪事務局≫**

利用実態としては、把握はしていないということですね。

**≪部会長≫**

委員の皆さんのほうから何か聞きたいことはありますか。

**≪委員≫**

私たち自治推進委員会は６部会に分かれているのですが、その中でこれから10年後のこと考える中で共通のテーマを設け「健康」について考えることにしました。

その中で、育み部会は、ほとんどの町内会に公園があり、その公園というのを健康づくりに利用できないのか、もっと有効に利用できないのかとの話し合いから、どれくらい利用されているのだろうという話になりました。

公園を利用してもらえるにはどうしたらいいのだろう、近くの公園で健康づくりをしてもらえるにはどのような設備があったらいいのだろうという話が出た中で現状がわからないので、今回現状をお聞きしようということになりました。それと同時に何かをやりたいけれど市に予算がないのはわかっていますので、公園を維持、整備するにはどのくらいの予算がかかっているのだろうということで資料を出してもらいました。

そして、この部会で公園のトイレの話が出てきました。私の家の隣に北公園があり、トイレがあります。でも使っているのはほとんど見たことがないのです。冬場は閉まっていますし。隣に図書館があり、ドラッグストアやコンビニエンスストアもあるので、多分皆さんそこを使っているのかなという話になり、そのような所と連携を結べば、北公園にはトイレがなくても良いのかなと思いました。トイレの維持費という部分も含めて、無いお金を出せとは言えないですが、あるお金を違うことに使うのであれば、行政も動いてくれるだろうということで、話し合いをさせていただきたいなと思いました。場合によってはそれで町内会と一緒にそういう話し合いの場があれば、来年度はそういう実際のその公園のデータを取るために、市のほうに予算を組んでもらえないのかなと考えていました。

**≪鳴海事務局長≫**

公園のトイレは私も見ていますが、男性は利用するかもしれないですが、和式でしたら女性はあまり利用していないですよね。

**≪委員≫**

小さい子どもはできないですよね。

**≪委員≫**

できないですね。今お話にあったように無くてもいいような場所もありますね。

**≪鳴海事務局長≫**

東公園でも見たことないです。主にハイヤーの運転手が利用しているのを見かけますが、公園で遊んでいてトイレを利用している人は見たことないですね。

**≪委員≫**

例えば北公園なら、仲川歯科や図書館、ツルハと提携を結んで、それらのトイレをご自由にお使いくださいとした方が良いですよね。その方が協働の社会になりますよね。

**≪事務局≫**

トイレに限らず、現行の予算の使い道を考えるというところの話ですよね。

**≪鳴海事務局長≫**

公園がいつもきれいであれば、遊具もあるので若いお母さんも子どもを連れて来ると思います。それについては町内会の方々も、協働のまちづくりという考え方で協力してくれると思います。協力してくれますが限度があります。その辺を考えて優遇していただければ、みんながやるぞという気持ちできれいにして、多くの方に使ってもらおうという気持ちが出るのではないのかなと思います。そうすることで利用にも繋がると思います。

昔は、広場があれば野球とかそんなことやっていたけれど、今の子供たちは公園であまり遊んでいないですね。遊ぶといったら、１人か２人でサッカーボール蹴るというような遊びですよね。また今、子供たちに人気があるのは、バスケットのゴールですね。そういうのがあったら結構子ども達は来ると思いますよ。

**≪委員≫**

遊具や健康器具を変えなきゃだめなのです。魅力的なものにしないとだめなのですよね。

昨日もテレビを見ていたら、本当にジムにあるようなマシーンが並んでいる公園がありましたね。

**≪草野次長≫**

近年、施設の長寿命化というのが始まっています。昔は作ってだめになれば橋でも道路でもすぐ新しくしようという考え方だったのが国の方も変わってきて、公園や道路、トンネル等の施設については、寿命が50年だとしたら、耐用年数50年が理想ですけれども、50年ではなくてもう少し延ばして60年とか70年延ばして、うまく使えるように延ばしていこうだとか、そういうことをやりながら、だめであれば取り換えるという考え方で、変わってきてはいます。普段もこの長寿命化にあわせて、一斉点検をしたり、それに基づいて毎年点検をして、危険度A、B、C、Dつけて、A、Bは大丈夫、Cになったら補修したり、Dは使用禁止にして取り換えるなど、そういう形で事故がないようにしています。

**≪委員≫**

公園というのはそれぞれの町内会にほとんどあり、良い場所に住宅がある。結構値段もする土地にあるので、もっと有効にその地域の人に利用してもらえるようにしたいなと思います。そのためにはどうしたらいいだろうということで、憩いの場や地域の活性化の場、プラス健康育成の場にもしたいと考えました。そのためにはまず利用状況や利用者の年齢層、利用頻度、利用時期等について、一度町内会の方に協力いただき、春、夏、秋、冬の平日と休日と午前と午後くらい調べるだけでいいでので、調査をしてもらい、それぞれの公園の利用率やどういう人たちが利用しているということについてある程度データが出てくるのかなと思いました。その公園をどのように変えていったら良いのかということが、考える目安になってくるかなと思います。

何のデータも無いと、行ったときにたまたま子どもが多く感じた等、やはり市役所に対して説得力ないですから。そういうデータをとるときに、調査に対する予算をつけることが可能かということをまず聞きたいです。もし予算がついた場合、連町は協力してくれるのでしょうか。

それができないのなら、このような話をしていてもしょうがないと思います。

**≪事務局≫**

市民自治推進委員会の当初の目的として、議論していく中で出てきたことについては、ご自身でそれぞれ動いてもらうということが根本にありますよね。この部会でできない部分があれば、市民自治推進委員会にはいろいろな組織の方がいるので、その中に連町の方も入っておりますが、その中で一応みんなでできないかというのも、検討はしていただきたいなと思っております。

**≪草野次長≫**

育み部会の議事録を、前回と前々回を読ませていただいたのですけれど、この利用実態がわからなければ将来的に考えられないということなのですけれど、全体の公園を調べるというよりは、ピックアップして調べるのが良いかなと思いますし、健康遊具を中心に考えるのであれば、資料を渡しておりますが、健康遊具を設置している公園が３カ所ありますので、この各公園で健康遊具がどれくらいの人に使われているのか、そういうのを見るのも１つの目安になるかなと思うのです。

あと、我々が考えたのは、例えばお金の問題がありますので、人の集まるところで例えば亀田公園ですが、あそこはお年寄りも来れば若い人も来るし、子どもも来るし、そういうところに遊具を設置すれば、来た人が興味本位で使うこともあるのかなと思います。あまり人のいないようなところに設置しても、利用はないのかなと思います。

**≪委員≫**

どこにどういう設備投資をしたほうがいいのかというのを、皆さんに説得できる資料がほしいですね。来年はデータを取る１年にできないのかなと思いました。

**≪委員≫**

提案ですが、憩いの場という言葉が出てきましたけれども、憩いの場と思っている言葉を大事にしたいという町内会に手を挙げてくださいというのはどうでしょうかね。そこに今清掃交付金として交付している予算に上乗せして調査も手伝ってくださいよというふうにして、公園の利用実態実績を調べてもらえれば、何かが発展していくかもしれないということを、前向きに考えられるのではないでしょうか。逆に手を挙げない人は、そこの公園が不要だと考えているかもしれないです。

**≪委員≫**

それは難しくないですか。その時手を挙げなくても、実際そういう公園になったら地域に住んでいるお子さんとか若い親御さん方は利用してくれるようになるかもしれないので。

**≪委員≫**

もちろんです。ですから今の話ですけれど、人の集まる公園に投資していくのか、そもそも地域にあるものに投資をして、その地域で健康になったり憩いの場になったりということを政策的に広げていくという方向にはなるのです。どこか模擬的にというのであれば、幅広くは難しくなるのですよね。

**≪委員≫**

全部一度にやるというのはできないけれど、その公園の周辺の住民の方々がここの公園にこんな公園になるといいねという意識があがってきたところは何とかしてあげたいですよね。あがってこないというところはしばらくいいのかなと考えます。

**≪委員≫**

そう考えます。

**≪齊藤主幹≫**

たしかに135の公園、広場があるのですけれども、全てに遊具があるということでもないのです。やっぱり広場としてあるのですが、残念ながら遊具は実際にない。若いお母さんたちが、子どもを連れてきて遊ばせたいので、遊具をつけてほしいなという要望も実際にあることはあります。何もないところにつけると、それこそ皆さん、喜んでいただけるとか。それが大きい公園がいいのか、小さい公園がいいのか、それが実際の悩みどころなのです。小さいお子様のいらっしゃるところは家の近くにそういう遊具があって子どもを遊ばせたいという方もいらっしゃるでしょうし、車で大きい公園へ行くとたくさんあるのですが、人がいっぱいいすぎてなかなか順番が回ってこないとか、そういう意見もありますね。

**≪委員≫**

連町でそういうお話をこういう議題が出たのだけれどもということを話せる場というのはあるのですか。

**≪鳴海事務局長≫**

役員会などはあります。絞り込んで例えば利用の状況がどうだというのは可能なのかなと思います。135全部ではなくて、例えば市内の４地区の中でその美園・若草地区はここ、鷲別地区はここ、そういう富岸地区はここというふうにしてお願いすることについては、私の段階ではお願いできるかなと思います。しかし調査の仕方については、365日ではなくてここにポイントをおいて、そういうような調査の仕方であれば、無理しない程度で可能かなと私の段階ではそう思います。

**≪委員≫**

これもし予算をあげるとしたら、どこからあげるのですか。

**≪事務局≫**

まだはっきりはしないのですが、自治推進委員会関係の各部会については、市民協働で把握はする形です。それを市民協働であげるかもしくは担当部局であげるかというのはまだこれからの協議で決まっていく形になると思います。

**≪委員≫**

でもあげるとしたら、来月くらいですか。

**≪事務局≫**

どちらにしても新規事業という形であげますね。経常経費ではないので。

**≪委員≫**

ボランティアでやってもらうものではないので、ある程度予算をつけてやってもらいたいですね

**≪鳴海事務局長≫**

この調査については、役員会に諮って、実施できるということになれば、それで予算措置をしていただくという形になると思います。今、私の段階では、絞り込むのは可能かなと思っていますが、まずは役員会に諮ってみないとわかりません。

**≪委員≫**

役員会に一度あげていただいて、協力できるかどうかをお話ししてみてください。

話は変わりますが、トイレの使用料というのは、水の量である程度わかるものですか。

１カ月でどれくらいの方が利用したのだろうなと予測できますか。

**≪委員≫**

この公園は少ない、あの公園は多いというようなことは何となく対比できますよね。

**≪部会長≫**

利用率が高いトイレ、低いトイレというのはだいたいある程度わかりますよね。

**≪部会長≫**

トイレの維持管理費ってすごいかかりますよね。

**≪山崎主査≫**

水道、下水道の使用料と電気ですかね。

**≪委員≫**

清掃はどうなっているのですか。

委託しているのですか。清掃業者に。

**≪山崎主査≫**

企業組合にお願いしてやっていただいています。週１回程度ですね。

**≪委員≫**

使っているのだから、なるべく有効な使い方にしたほうがいいなと思います。

**≪草野次長≫**

有効に使うなら、提案があった育み部会もしくは、各団体がこれにどうかかわっていくかということが一番重要だと思います。

**≪委員≫**

そこに私たちが関わっていきたいし、連町とも関わっていきたいと思います。

公園を大人も子どもも心身の健康の場に使いたいと思っています。防災もあるし、地域の交流もあるし、いろんな目的に使いたいですね。

**≪事務局≫**

そういう形で遊具が設置されたのであれば、この部会で有効活用して利用を上げるような取り組みとかイベントとかできれば作っただけで終わらないですね。利用をもっと活性化できて、また公園にも人がたくさん行くということもできると思います。

**≪委員≫**

　連町の会議の場に私たちを呼んでくだされば、話をしに行きたいですね。

**≪委員≫**

それがこの会の目的なので、自治推進委員会の目的はここで会議をすることではなくて、地域に住んでいるあらゆる組織の人と、連携をとって地域全体を考えていくという役割なので、ぜひそれを実現していければいいなと思います。

幅広く、今話があちこち飛んでなかなか絞り込めないですが、でも健康器具を設置するところから、こういうふうに話が広がっていって、絞り込んではいけないけれど、話がいろいろ飛ぶことによって見えてくるところもあるので、いいなと思いました。

**≪鳴海事務局長≫**

やっぱり私は一番の原点は、地域の方々がその近くの公園を草刈りしたり、ゴミ拾いしたりそういうことをやっていただくことは、それは継続です。ですが、それに対する何らかの手当をしていただいて、そしてその公園を大いに活用して地域の活性化、体力づくり、健康づくり、そうしていただきたいというそれが一番の原点ではないのかなという思いです。やはりそれが、行政もわかっていただいて、それはやはりお２人の言った課題ではないのかなと私は思います。それをやることによって、地域の人たちは張り切ってやりますし、またそこを活用して地域の活動の場所となるのではないかな、若いお母さんたちも活用するのではないかなと思います。調査は２の次として。

**≪部会長≫**

このあと、会議のある方もいらっしゃるので、一応このあたりで終わらせていただいて、今いただいた意見と参考になる資料等を部会のほうで合わせていただければと思います。

今日は本当にありがとうございました。

**≪委員≫**

　先日、イベントで見た簡易トイレがとても綺麗でした。

**≪部会長≫**

１つの方向性として、そういうリースのトイレをうまく有効活用するというような部分も、その施設の維持管理の部分でいうと、合理的な考え方ですよね。

**≪委員≫**

そうすれば、災害のときにも利用できますね。市の備品として災害に利用できるから。

避難場所になっている公園は、多分その周辺もトイレ使えなくなるから、水が使えないのでそこの公園のトイレも使えなくなっていますよね。

**≪事務局≫**

トイレ自体のお金の捻出方法が１つの方法ですね。あとは利用実態とか実態調査の話になってくると思うのですけれど。

**≪委員≫**

調査の予算化の問題は来年度の予算に組み入れてもらう方法は何らかの形で私たちの推進委員会から出したほうがいいと思います。

**≪部会長≫**

連町のほうもちょっと検討していただけそうな雰囲気でしたし。

**≪事務局≫**

先ほどの話ですが、市の予算もあるし、連町にもお願いしてもらっていますけれども、市民自治推進委員会もいろいろ連携していくのですけれど、自治推進委員会自体も動いて、その団体にも動いてもらってというのが基本にありますので、全てを連町とか市のほうでというわけではなくて、そこら辺はうまく分担していって、調査なりができたほうがいいと思うのですよね。そこら辺をちょっとうまく連携を取れればと思っているのですけれども。

**≪委員≫**

ＰＴＡのお父さんたちが卒業したあとに、今まで頑張ってきたのが何もなくなるという話を何件も聞いております。そういうマンパワーをＰＴＡの卒業部会か何かをつくって、お父さんたちが集まれるような場所をつくっておけば、いざというときに、役立つのかなと思います。自分の子ども達を遊ばせる身近な公園をきれいにするためならいくらでも力を貸してくれると思います。そういうのが幌別東小学校区のＰＴＡの方が新たに幌別ドットコムという組織をつくり始まっています。鉄南地区を元気にしていこうみたいな。私たちもそこと連携してやっていますが、そういうのがあるのかなと思っています。町内会にということではなくて、地域をうまく活用して、その人たちの居場所をきちんと作らないといけないなと思います。

**≪委員≫**

子供の少子化だけじゃないですよね。大人も減少しているのです。だからそこを継続していくのはやっぱり人との関係性ができていないと、結局PTAぐらいしかお父さんたち横のつながりって、趣味の野球とか何かは別として、ないですよね。

**≪委員≫**

富岸もおやじの会がありますけれど、人数少ないですよね。

**≪部会長≫**

富岸の場合、今言ったように卒業した方が協力してくれるおやじの会ですね。ずっと協力して10年以上やってくださっている方もいます。

**≪委員≫**

それが縦につながってくると、厚みがでてきますね。

**≪委員≫**

お父さんたち、若いとき若いなりに忙しいですし、ちょっと上になってくると仕事のほうが、責任が重くなってきますね。

**≪委員≫**

全部の人がそうではないけれど、その熱意を持った人が、なんとなく私も地域人材を掘り起こそうと思って活動していると、いるのだということがわかってきました。

**≪委員≫**

子ども会をやっていても本当にそうなのです。子どもとお母さんは参加してもなかなかお父さんの姿は見ないです。

**≪部会長≫**

意外と私のところなんかは餅つき会にお父さん方出てきてくれますよ。そういう繋がりはあるのですけどね。

**≪委員≫**

今私が知っている範囲、幌別と東小があったりするので。

**≪委員≫**

青葉もおやじの会あります。

**≪委員≫**

あります。それらが普段はそんなに深く関わらないけれど、薄く浅く広がって繋がっていくと、いざというときに、それなら手伝ってくれるよというようなものが本来のネットワークだと思います。

**≪部会長≫**

　とりあえず、方向性みたいな形が見えてきましたね。

**≪事務局≫**

連町のほうで、役員会には多分なげかけてくださるとは思いますが、先ほど鳴海事務局長からのお話だと、４地区で多分１つの公園をピックアップして見ていただくという形だと思うのですけれど、もしそれでだめだとなった場合に、私たちも含めてこの部会の皆さんで連町にお願いしなくてもできるのかなと思います。

そのほうがお金の心配、もしかしたら、連町の役員会来月あるかどうかわからないのですけれど、間に合わない可能性のほうが高いと思います。

**≪委員≫**

予算がつかなかったら、つかなかったようにやるしかならない。今回連町にわざと予算をつけてでもお願いしたいのは、その後のことがある。実際にここの公園をどうしたらいい。町内会、その地域の町内会の地域の人たちで私は相談してほしいというのがあるから、私たちが先にそこを声をかけずにやってしまうと、次に何かやるときに進まなくなってしまうので、足並みを揃えていきたいなという部分で連町に投げかけています。

**≪委員≫**

やっとこういう形で今までできなかった地域と結びつきができてきたというのは、１つの成果だと思います。そういう意味でその交流だとか生活に密着したテーマで健康だとかいうところで、お互いに情報が共有できて、そこから意見交換できたりするような関係さえできれば、町内会の問題も見えてきたし、私たちも知らない部分なので、そういうのは逆に言ったら逆提案で町内会の公園管理というのを、もう少し情報集めていただいたら私たちも応援するよというような形でやれば、そこはうまく１つの連携の実態として成果としてあげられるのではないかなと思います。

１つのことが上手くいくと、ほかのことも上手くいくと思います。

**≪委員≫**

今回は連町と自治推進の６部会と都市計画との連携を取って、テーマは公園ですが、１つ形にできると、今度いろんな形の連携ができますよね。

都市計画とは切らずにずっと一緒に足並み揃えていかないといけない。

**≪委員≫**

違う話題になったときは、また違う部署とちゃんとやればいいですね。

**≪事務局≫**

さっき４地区の話もありましたけれども、今健康遊具を置いてある公園が３カ所あるみたいなので、この3カ所が実際どういうふうに使われているのかなを調査するのも良いのではないでしょうか。

**≪部会長≫**

このベンチだってほとんどベンチに座るだけで、どうやって使っていいかわかっていないです。

**≪委員≫**

いなほ公園だけは説明があります。看板が立っていますね。

**≪委員≫**

こんなのがあると思わなかったです。

　ＰＲが足りないですね。

**≪部会長≫**

　こういう説明みたいなものがあると意外と活用されるのかもしれないですね。

**≪委員≫**

　誰かがついていて、使い方を教えてくれると良いですね。

**≪委員≫**

　月に１回第何土曜日や日曜日に、１時間くらい町内会に周知して、興味のある人はお願いしますということをやれば良いのではないでしょうか。

**≪委員≫**

　人材を育成しているから、その人たちが公園を指導できるようになれば、２、３年後にはそこそこの効果が期待できるのではないでしょうか。

**≪事務局≫**

　例えば私たちの部会には体育協会の方がいるので、その使い方をマスターしてもらい、町内会等に周知していただくのも良いかもしれないですね。

**≪部会長≫**

　土曜日にこういう健康づくりのためのプログラムをつくって集まってくださいというのも良いですね。

**≪事務局≫**

　まずはその３カ所から始めて効果があれば増やしてということですかね。

**≪委員≫**

まずその何でも最初から立派なものと言わないから、とりあえずあるものを効果的に利用してみるのが良いですね。

**≪委員≫**

健康遊具が設置されていることを知らなかったです。今回出してもらって初めてし

りました。

**≪委員≫**

とういうことは、市民のほとんどの人がわかっていないということですね。

**≪委員≫**

これだったら、若いお父さん達が子どもを連れていきながら、遊ぶというかできますよね。

**≪部会長≫**

ただ、使い方がわからないですね。

**≪事務局≫**

それであればお金がかからないで、既存にあるものなので、プログラム考えてもらって、町内会に協力いただいて人にきてもらい効果をあげていくというのは可能かなと思います。

**≪委員≫**

これは都市調和部会になりますか。

そこと連携するとまた違うアイデアが出てくるのではないかと思うので、ぜひうちだけではなく合同部会をし、もしここが導入部になるのであればその方法がいいです。

**≪事務局≫**

都市調和の方が公園の話も出ていましたが、今ウォーキングマップ作りの関係になりそうなので、公園はここの部会がメインになっているので、この部会がメインに進めても健康づくりとかそういうところで今のところは大丈夫だと思います。

**≪部会長≫**

　今回のこの資料については、意外と知らないことがわかりました。

**≪委員≫**

　誰が発案したのでしょうか。

**≪事務局≫**

　いなほ公園は住民の要望により設置したという話を聞いております。

**≪委員≫**

　この富岸公園はもったいないです。

　裏にさっき話にあったバスケットゴールもついています。結構中学生が使っていて横にテニスコートがあるので、利用率が高いです。すごい立派なアスレチックもあるので、そちらは小さい子どもたちが使っています。小学生から中学生くらいまでびっしりおります。これを大人にもっとうまく使わせるようになれば、プログラムみたいなのをつくって貼っていれば子どもたち遊んでいる間にやってみませんかと出来るかもしれないです。

**≪委員≫**

　こういうのが、３地区か４地区にあればいいですね。

**≪部会長≫**

　今日はいろんな話ができましたので、次の部会の中でさらに深めていければと思います。

**≪事務局≫**

　１点確認したいことがあります。前回まちづくり部会で川島さんの話がありまして、その感想を皆さんに聞きたいなと思いました。率直に皆さんどのような印象を持ったのかお聞かせください。

**≪委員≫**

　すごい参考になりました。いい話でした。

**≪事務局≫**

　仲川先生は医療関係者としてどう思われましたか。

**≪委員≫**

　全然、私が知らないことばかりでした。

**≪部会長≫**

　参考になることたくさんありました。

**≪委員≫**

　ああいうのはいいですね。なかなかそれをやるからといって来ないかもしれなですが、１回聞くと来ると思います。聞きだしたらおもしろいなと、なかなか席が立てなくなる。

**≪委員≫**

　室蘭や苫小牧でやっているように、連続講座で行うのが良いですね。何時間もするのではなくて、１時間コースを５、６回するのが良いですね。

**≪委員≫**

　もう少し聞いても良いかなくらいの感じがいいです。

**≪部会長≫**

　シリーズ化みたいな感じで、次の話を聞きたいようなくらいのところで終わる。

**≪委員≫**

　一方的に聞くのではなくて、質問を入れたりすると１時間あっても終わるから、これをシリーズにしていくと良いと思います。

**≪事務局≫**

　よく川島さんが言うのは、講演とかは一方通行なのだけれども、聞く場所がないので、そういう聞く場所を設ける必要があるのだよということは言われています。対話形式でやれるというのはなかなか機会がない。市民の方も聞きたいことがあるけれど、聞く場所がないという話です。

**≪委員≫**

　きちんと予算化させて、払うものを支払ってただで使おうというのではなくて、単価を払ってそれなりの評価をしていかなければならないと思います。

**≪委員≫**

　本当に聞きたい人はお金を出してちゃんと聞きますよね。

**≪事務局≫**

　室蘭とかでも１回1,500円くらい払ってやっています。それでも集まるらしいのです。

**≪委員≫**

　何かをやろうと思う、聞きたい、見たい、知りたいと思うことには、無料では手に入らないのだよという習慣化をさせることが必要ですね。

**≪委員≫**

　無料で集めても時間つぶしに、暇つぶしに来るだけだから続きませんね。

**≪委員≫**

　１回くらいなら無料でやっても良いですが、その切り替えをして、何かを得るためには対価が必要なのという習慣をつければ、高い、安いはあるけれども、当て外れることもあるけれども、それによって自分は判断力がつくわけですから、そういう習慣をつけていかないと市民力があがらないと思います。

**≪事務局≫**

　市民の皆さんを対象にやっても良いと思いますか。

**≪委員一同≫**

　良いと思います。

**≪事務局≫**

報告しておきます。

あともう１点、ぬくもり部会での話ですが、ぬくもり部会では特定健診の受診率を上げていきたいという話がでておりまして、市で昔アンケートは取っていますが、まず自分達自治推進委員会の部会員に一度アンケートを取りたいなという話が出ています。国民健康保険でも、社会保険でも共済でも関係なしに１度アンケートを取りたいという話をしていましたので、意識調査みたいなのを取るような形になりますので、お願いいたします。

　この部会のまとめとして、予算関係について今回くらいがある程度リミットにはなります。はっきりしない部分はありますが、予算措置がなしでできる部分であれば、先ほど話をしました健康遊具の部分の活用方法について考えるのも良いかなと思います。

　予算的な話になればその調査とかの部分をどの程度やるかということについても変わってきますので、件数が少なくなるのであれば部会とか自治推進委員会で対応もできるのかなと思います。

**≪委員≫**

　ただ、きょう聞いていても連町はほとんどどこの連町も一部の人だけの負担になっているというのはよくわかりました。だからそういう部分でそれはボランティアではなくある程度しっかりした対価のもとで、やってもらいたいと思います。

**≪部会長≫**

　さっきの話だと４地区で各５カ所くらいだから20カ所くらいになりましたよね。もし連町がやってくれるのであれば、これくらいの数であれば、データ化はできるかもしれないですね。４地区で１カ所ずつであれば、データにならないですね。

**≪委員≫**

　トイレの設置されている公園を調査するのも良いですね。

　連町にお願いする部分とプラスアルファで私たちができることを考えれば良いですね。

**≪事務局≫**

　この部会でも何カ所かもって調査をしてという感じですかね。

**≪委員≫**

　連町のできる範囲で協力してもらうということで良いのではないでしょうか。

**≪委員≫**

　予算の要求をするときに、どの程度というような固めた案ということが必要ですよね。

**≪事務局≫**

　何カ所くらいでというのは、やっぱり必要になってきますね。

**≪委員≫**

　そうなると間に合いますか。

**≪事務局≫**

　それは厳しいです。今の段階で今回である程度何カ所くらいでということで、箇所数さえ決まっていればある程度可能かもしれないです。

**≪委員≫**

　都市整備部の予算に上乗せできないのですか。

**≪事務局≫**

　費用的に修理するお金なら、全体で予算を組んでいますが、調査費というのは固定で何円と決まっているので、それを増やすのは難しいです。

**≪委員≫**

　そこをふやすのは無理ですね。

**≪事務局≫**

　手間がかかります。まったく新しいものをつくろうとするとそこである程度、基礎資料やデータ等必要になってきます。ある程度修繕等については箇所づけされており、固定しているので何でも使えるというのはなかなかないのです。

**≪庁内委員≫**

　今の時点ではある程度上限というか枠である程度の想定で今は組むしかないですね。連町の役員会のあとになるのであれば上限で組むしかないのかなと思います。

**≪委員≫**

　先程の講演会をやるかもしれないし、市民公開講座みたいなのもやるかもしれない。それから調査研究費とかも含めて何十万と出してもらうしかないのでは。

**≪事務局≫**

　わかりました。

　まちづくり部会はまだやっていないので、次回で決まると思います。ダイレクトに予算化しそうなところは今のところそんなにありません。今、防災・環境部会がウォーキングのほうを市民対象でやろうかという形になっており、バスはかかるかなという話もありましたが、市バスで対応できそうなので、そこはお金がかかってこなさそうです。ほかの部会もダイレクトに予算がかかってくるのがなかなかなさそうなので、あるとしたらまちづくり部会で川島さんのところが講演でお金がかかってくるかなというところの予定です。あと、ここの部会で調査とかそういうところで上乗せするのがあれば、要求するような形になると思います。

**≪委員≫**

　ある程度、実績で予算化しておく必要がありますね。

**≪事務局≫**

　予算がかかるものかからないものも取りまとめはします。

**≪委員≫**

　４月から動いて、次年度のたくさん事業をするというところまでは全然いっていないけれども、あらかた見えているところで特に私たちのような予算化とか講演会と２つ分くらいは、今までの自治推進委員会のやり方でするときちんと事務局で予算化してくれていたので、できればそういう方向でやってほしいです。

**≪委員≫**

　10月中くらいには部会長会議するのですよね。

**≪事務局≫**

　そうですね。

**≪委員≫**

　その段階で各部会長がアンテナ役で、ある程度来年度予算化した方が良いものをあげてもらい予算化してもらうという形になると思います。

　健診の利用率をあげようとか、講演会をしていこうとかこういうものがくっついていくと、形が見えてきますね。

**≪委員≫**

　少なくとも私たちが市民側として、市のどこで何をやって、街区公園だとかいくつ数があるとか、こんなこともほとんど知らないわけです。だから私たちも情報が少ないし、関係ないと思っているから知らないで済んできたことが、１つのテーマの元に少しずつ糸がつながっていくようになっているから、そういう意味では今までよりは具体化しているし良いのではないかなと思います。

【**次回の日程**】

　平成２８年１０月１７日（月）１７時３０分から